

2025年12月1日

No.223

令和7年9月定例会
定例会は年に4回

かすが 議会だより

KASUGA City Council Report

CONTENTS.

- 2・3p いってみた きいてみた
- 4・5p こんなことを決めました議案審査
- 6～8p 決算審査
- 9～12p ここが聞きたい一般質問
- 12p 議会広報改革
- 13p 福岡女学院大学議会訪問
- 14・15p 各委員会の視察報告

いつでも!どこでも!あそびでも!
議会を
見に行こう!



議会ウェブサイト



Facebook



Instagram

特集

いつてみた きてみた

広聴活動



市議会では、皆さまの声を市政に反映させるため、広聴活動をさらに強化しています。

小中学校での主権者教育、各団体の皆さまのもとへ直接足を運び、またSNSやアンケートなどを通じて、皆さまの「生の声」を直接お聞きすることで、今まで見えにくかった市政の課題解決に向けた貴重なご意見や、目から鱗のヒントをたくさんいただいています。

皆さまの日常の実感に基づく声こそが、より良いまちづくりを進めるための羅針盤です。これからも、皆さまと共に歩み、一つでも多くの課題を解決できるよう努めてまいります。

今回は、スポーツ協会・文化協会との意見交換、春日奴国あんどん祭りへのブース出展について取り上げます。

春 日市文化協会からの声

文化活動に携わる皆さまから、活動を支える現場の声を伺いました。

夜間の練習後でも安心して帰宅できるよう「やよいバス」の最終便を遅らせてほしいとのご意見や、施設のWi-Fi整備など、多彩な提案をいただきました。

これらの声を大切に、文化芸術の振興と活動基盤の充実につなげてまいります。

市民が文化を通して交流し、心豊かに暮らせるまちをめざします。



あんどん祭り

第49回春日奴国あんどん祭りが、10/4(土)と10/5(日)の2日間にかけて盛大に開催されました。

春日市議会をもっと皆さまの身近に感じてもらえるように、今回は市議会として初めてのブースの出展を行いました。それぞれの議員のお知り合いの方ももちろん、通りかかった市民の皆さまとも交流することができ、また市議会SNSのフォローをしていただける方も多く、市議会について関心を持っていただける機会になったと思います。

このように、市の行事やイベントに市議会として参加するだけでなく、市民の皆さまと交流できる機会を多くしていくことで、市民の皆さまの声を市政へ届ける役割を果たしていきたいと考えています。



春 日市スポーツ協会からの声

スポーツの現場で日々活動されている皆さまから、貴重なご意見を伺いました。

夏の熱中症対策やスポーツセンターの設備改善など、安全で快適に利用できる環境づくりに向けた具体的な声を多くいただきました。

市民の方が安心してスポーツを楽しみ、健康づくりに取り組めるよう、議会としても引き続き調査・研究を進めてまいります。

現場の声を市政につなげ、より充実したスポーツ環境の実現をめざします。



こんなことを決めました

議案審査

令和7年第3回春日市議会定例会

市長提出議案 25件 (条例8件、予算6件、決算6件、人事2件、その他3件)

委員会提出議案 1件

春日市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正



・福岡広域都市計画地区計画西鉄春日原駅周辺地区地区計画の決定及び南部白水地区地区計画に係る地区整備計画の変更に伴い、当該区域内における建築物の制限に関し、所要の規定の整備を図るもの

【問】建物のセットバックや1階部分のガラス張りは、採光や街並みの統一感を図ることを目的としているのか

【答】建物の1階部分に誘導用途(店舗、シェアオフィス等)を設け、ガラス張りにすることで歩道との一体感や明るい街並みになることを想定している

【問】駅前という立地を踏まえ、自転車利用の促進や緑化など、歩行者中心の賑わい創出に向けた配慮は講じられているのか

【答】駅周辺整備事業の一環として、駐輪場や自転車通行に配慮した道路整備を進めており、緑化については移動可能な大型プランターの活用を検討している

【問】都市計画審議会での審査は実施済とのことだが、春日原地域住民への説明会等は今後予定されているのか

【答】都市計画決定に伴う法定手続きの中で住民意見の聴取機会は設けている。今後は出前トークや西鉄春日原駅周辺まちづくり会議等を通じて地域住民への説明を行う予定である

春日市景観条例を制定



・景観法の趣旨に基づき、本市の良好な景観の形成を図るため、景観計画の策定、建築物の建築等に係る届出等に関し、必要な事項を定めるもの

【問】景観法に基づく景観計画が既にある中で、改めて条例を制定する必要性について、明確な理由は

【答】景観計画のみでは指導・勧告等の権限が不十分であり、条例を制定することで景観重点区域の指定や計画への適合指導が可能となる。景観条例は景観計画と連携し、春日市の景観形成を効果的に推進するために必要である

【問】条例制定により民間事業者への負担増や表現の自由・財産権への影響が懸念されるが、行政としての審査体制や法的整合性への対応はどう考えているか

【答】職員は条例の趣旨を十分に理解し、事業者や個人に対して適切な指導を行う体制を整えている。事前協議を通じて企業活動への影響を最小限に抑えつつ、色彩やデザインに関する調整を行うなど、柔軟な対応を図る必要があると考えている

春日東中学校屋内運動場新築工事(建築本体工事)請負契約の締結



・一般競争入札により、6億6,165万円で工事請負契約を締結

【問】落札率が99.95%と高い要因は何か

【答】推測ではあるが、競争相手が少ないと判断した場合や自社の技術評価点が高いと判断した場合、予定価格を公表しているため、高い金額で応札する可能性があると考え

【問】工事関係の契約において、1者入札が増加していると感じるが、その点についてどう考えるか

【答】参加資格を満たしている業者の数は50者を超えており、競争性は確保されている。しかし一般競争入札の応札数が少ないのは事実であり、推測ではあるが、建設業界の発注数増加により人材確保が困難な状況や、JV発注という単独発注と条件が異なることが要因と分析している

令和7年度一般会計補正予算(第5号)

補正額/10億6,401万7千円増 歳入歳出総額/448億6,263万2千円



【問】都市緑地保全等基金積立金について、事業者からの設置許可制度による歳入を充てているが、必ずしも白水大池公園だけに使われるわけではないのか

【答】基金は公園全体の整備に使われるため、白水大池公園だけではなく、有料化で得た財源は同公園の再整備に活用する方針である

【問】西鉄春日原駅周辺整備事業費について、サイン計画策定業務負担金は、具体的にどのような内容を検討されているのか

【答】駅周辺に設置する案内板の色・形・デザインなどを、統一性を持って計画策定する予定である

【問】障害福祉システム改修業務について、令和7年度障害福祉サービス等改定に伴う改修とのことだが、その改定内容はどのようなものか

【答】就労選択支援というサービスの追加である

【問】放課後児童クラブ管理業務について、1単位40人の基準を超える学童クラブもある中で、3単位13人分の支援員人件費の追加で対応可能か

【答】児童数に対して必要な支援員確保は大前提だが、人件費は指定管理者が指定管理料内でやりくりし、指定管理料の各経費への割り振りは事業者の経営判断による

令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正額/1億1,613万8千円増 歳入歳出総額/102億1,120万円



令和6年度

一般会計決算をチェック!

9月定例会では、決算審査特別委員会を設置し、令和6年度一般会計の決算審査を行いました。委員会では「決算書」や「主要な施策の成果」などの資料をもとに慎重に審査を行い、採決の結果、賛成多数で決算を認定しました。

令和6年度一般会計 決算状況

歳入総額 **427億6,966万円**
(前年度比5.7%増)

歳出総額 **410億5,737万円**
(前年度比5.1%増)

翌年度に繰り越すべき財源 6億3,556万円

実質収支額 **10億7,673万円**

決算審査特別委員会は、議会選出の監査委員を除く19人の議員で構成されています。

黒字

認定

歳入 23億2,362万7千円の増

	区分	増減額
増額要因	市税	9,421万円
	地方交付税	5億460万9千円
	地方特例交付金	5億991万2千円
減額要因	繰越金	▲9,129万6千円
	寄附金	▲6,841万6千円

歳出 20億282万8千円の増

	目的別	金額	主な内容
増額要因	民生費	12億4,194万8千円	給付金・定額減税補足給付金給付事業費 物価高騰対応補足給付金給付事業費
	総務費	6億8,421万4千円	庁舎等維持補修費 電子計算器等管理運営費
	土木費	4億5,835万7千円	春日西多目的広場公園整備事業費 上白水市営住宅建替事業費
減額要因	教育費	▲2億359万7千円	小学校施設整備事業費 西野球場管理費
	衛生費	▲1億405万4千円	新型コロナウイルス予防接種費 春日那珂川水道企業団出資金

決算審査特別委員会での注目ポイント

委員会の審査では、各事業の決算内容について様々な質疑が行われました。その一部をお知らせします。

自主財源と依存財源の比率について

問 令和5年度と比べて令和6年度は自主財源の構成比率が下がっている。自主財源の確保のため様々な努力をしていると思うが、財政としてどのような見解を持っているか。

答 自主財源と依存財源の比率については、財政としても注視している。自主財源をしっかり確保しておかないと、国の政策により依存財源が減った場合に、市の財政が立ち行かなくなる恐れもあるため、自主財源の確保の部分は注視しながら財政運営を行っていきたく考えている。また、令和6年度は定額減税の影響があったが、定額減税が終了すれば、通常どおりの自主財源と依存財源の比率が明らかになる。その上で財政状況を確認しながら、運営を進めていきたいと考えている。

コミュニティバス事業について

問 令和6年度の途中から70歳以上の方が無料になったが、バス利用者のうち無料化になった方の割合はどのくらいか。

答 利用者のうち50%程度が高齢者ICカードを利用している。

問 運行経費に対して交付税措置があるとはいえ、市の負担をいかにして抑えるかということは重要な視点である。令和6年度何らかの取り組みはされたのか。

答 無料化にすることで市の負担が増えることは十分認識しているが、高齢者がコミュニティバスを無料で利用していただくことで地域活動への参加などを促すねらいであったので、そういった面で色々な良い影響も出ているのではないかと考えている。

市民健康診査事業について

問 市民の健康への行動変容を促すような取り組みを令和6年度は何か行ったのか。

答 行動変容という形では、健康診査の結果の後の保健指導がある。また、健康教室を毎年プログラムを変えて実施している。健康教室は人気が高く、参加した市民の行動変容に少なくともつながっていると考えている。

放課後児童クラブ管理事業について

問 登録児童数、支援の単位数は前年度から増えているのに対し、支援員の数が1名減となっているが、各クラブで支援単位数も異なると思うが、全体的に支援員の数は十分足りているのか。

答 支援員の数は指定管理者が登録している全体の支援員の数であり、実際に配置しなければならない人数を上回っている。安定的に支援員を配置するためには登録の支援員の数は多い方が良くと思うが、実際に配置される人数以上は登録されているため不足していない状況であると認識している。

自治会連合会補助金について

問 AEDの共同調達を行った理由は。

答 以前は各自治会がAED購入時に補助金の申請をし、市が購入費用の一部を補助していた。今回、自治会連合会として35地区の分を一括でリース契約することで、自治会の費用負担や補助金申請手続きの負担を軽減するメリットがあった。また、一括でリースすることによる金額的なメリットがあり事業を開始した。

議会費は 2億6,344万円

【主な項目と決算額】

- ・議員報酬(20人)……………1億1,538万円
- ・期末手当(20人)……………3,814万円
- ・政務活動費……………288万円
(議員一人当たり1万2,500円/月額)
- ・費用弁償……………126万円
- ・議会だよりの作成(年4回)……………287万円

議会の決算はこのようになっています。内訳に記載しているのは主な項目です。

特別会計・事業会計 決算状況

付託された常任委員会において各特別会計・事業会計の議案審査が行われ、すべての決算を認定しました。

国民健康保険事業 (市民共生委員会)

歳入 100億2,946万4,129円
(前年度比0.7%減)

歳出 99億2,158万 988円
(前年度比0.8%減)



問 保険税軽減世帯数が減少しているにも関わらず増額となっている要因は、軽減割合の高い世帯が増えていることによるものか

答 大きな要因としては、令和6年度に行った保険税率改定によるものと考え

介護保険事業 (市民共生委員会)

歳入 80億7,880万8,192円
(前年度比5.3%増)

歳出 78億1,822万6,554円
(前年度比3.8%増)



問 在宅介護実態調査結果報告を見ても、在宅介護の必要性が増していることは明らかであり、在宅でいつでも受けられる、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護といった地域密着型サービスの活用が今後ますます重要である。これらの事業は、さきの調査報告においても認知度があまり高くないように思われるが、令和6年度はどのような拡充の取組を行ったのか

答 地域密着型サービスの365日24時間サービスに関して、特設PR等の取組を行ったわけではないが、いずれの事業も給付費ベースでおおむね1割以上伸びていることから見て、制度が浸透してきていると考える

後期高齢者医療事業 (市民共生委員会)

歳入 19億4,064万1,339円
(前年度比14.7%増)

歳出 18億4,886万6,299円
(前年度比14.4%増)



土地取得事業 (総務企画委員会)

歳入・歳出 6億6,217万8,676円
※令和6年度からの事業会計であるため、前年度比はなし



下水道事業 (総務企画委員会)

収益的収入 23億4,718万7,301円(前年度比2.92%増)

収益的支出 19億8,315万6,526円(前年度比7.70%増)

資本的収入 3億1,598万 419円(前年度比9.84%減)

資本的支出 12億7,549万1,987円(前年度比6.99%減)



9月定例会 議決結果一覧 賛否が分かれた議案

令和7年第3回(9月)定例会 議決結果	賛 成	反 対	公明党 翔春会 春令会 創政会 春陽会 明社会 会派に所属しない議員																			
			高橋裕子	原克巳	森山五月	佐藤誠之	船久保信昭	迫賢二	西村澄子	松尾徳晴	米丸貴浩	岩淵穂	安部隆志	田中純子	奈須孝三	中村孝三	北田織	吉居恭子	内野明浩	西川文代	有村博	
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度 一般会計補正予算(第5号)	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度 一般会計歳入歳出決算認定	認定	16	2	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※中原智昭議員(春令会)は議長職のため、表決権はありません。 ※原克巳議員は監査委員のため、一般会計決算に関しては審議に加わっていません。

そのほかの議案については全員賛成

ここが聞きたい!

一般質問

一般質問とは

議員がその所属する地方公共団体の執行機関に対し、

- ①事務の執行の状況や将来に対する方針などについて質したり、
- ②報告や説明を求めたり、
- ③疑問を質すことをいいます。

一般質問は、定例会に限って許され、臨時会ではできません。

また、質問は議案とは関係なく行政全般について認められます。

いつでもどこでも、QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、YouTubeで一般質問の録画映像を視聴することができます。



学校に行きづらい
子の学びと育ちのために

はら かつみ
原 克巳 議員



【問】不登校の子を持つ保護者にとって、平日の昼間、わが子が家にいる、その不安やつらさは想像を超えるものがあり、親のストレスが子どもに伝わり悪循環に陥るケースも少なくない。不登校が増加する中で、保護者支援の重要性はますます高まっていると考えるが、

【答】引き続き福祉的なアプローチに力を入れている。児童生徒だけではなく保護者の声に耳を傾けるため、教育相談員とスクールソーシャルワーカーを増員し支援を充実させている。



小中学校の環境整備について

さこ けんじ
迫 賢二 議員



【問】小中学校の体育館へのエアコン設置についての今後の方針は。

【答】本年度の検討業務の結果により空調方式の選定を行った後に、来年度から実施計画に着手し、令和9年度に中学校6校、令和10年度に小学校12校を整備する。



【問】吹奏楽部の楽器について、管理体制の現状の課題と対策は。

【答】標準仕様レベルに統一した楽器の購入計画の策定と楽器の状態を記載できる備品台帳の整備が急務であり、定期的に総点検を実施する事が何よりも肝要である。

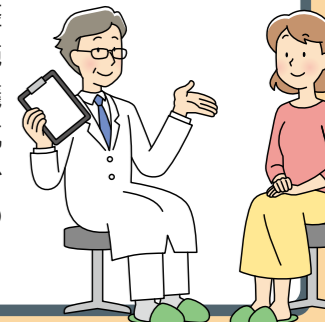
障がい児・者支援とがん対策について問う

たかはし ゆうこ
高橋 裕子 議員



【問】子宮頸がんは年間約1万1千人が罹患し約3千人が死亡する女性特有のがん。罹患者数や死亡者数が10年以上減少してない。予防は検診とワクチン接種が有効だが検診受診率は4割程度と低い。国はHPV検査を公的検診として導入することができるとした。検討してほしい。

【答】筑紫地区5市と調整の上、筑紫医師会や実施医療機関との十分な協議が必要。状況を踏まえ筑紫地区住民健診協議会で子宮頸がんHPV検診の導入について検討する。



命と暮らしを守る 猛暑対策

にしむら すみこ
西村 澄子 議員



【問】高齢者の命を守るための生活支援や、見守り体制強化に取り組む考えは。

【答】民生委員児童委員に高齢者の見守り、声かけの協力を依頼し、適切にエアコンを使用するなど熱中症への注意喚起をしている。

【問】大型冷風機の配置台数や対象校の状況、今後の追加配置や整備計画は。

【答】大型冷風機は、小学校9校に各1台、中学校1校に1台、4校に各2台を配置。今年度の状況を確認し、体育館空調整備を完了するまでの効果的な暑熱対策を引き続き検討。



ゴミの分別マナーと ゴミのポイ捨て問題

なす じゅんこ
奈須 純子 議員



【問】春日市の現状は。

【答】マナー違反は後を絶たず、市職員が巡回し状況確認し適宜に対応。日暮れ前より出された燃えるゴミが動物に荒らされて散乱や収集されなかったゴミが翌日まで残っている。

【問】ゴミやたばこのポイ捨てに対する罰金について条例制定の考えは。

【答】条例による市独自の罰則規定を設ける予定はない。自分たちの町は自分たちできれいにしようという市民全体でポイ捨てのないまちづくりへの意識を高め、連携による周知啓発に取り組む。



中学校給食の 選択制について

たなか たかし
田中 隆志 議員



【問】栄養バランスの問題、食育の問題、アレルギーの問題、給食の無償化への動きなどを考えると、全員給食に変更することを考えていくべきと考えるが、アンケートでは、生徒は選択制給食を望む意見が多い。生徒の意向も含め検討が必要で、生徒が給食について考える場や、給食の在り方を関係者で検討する場をつくり、制度に変更の必要はないか検討しては。

【答】自由に選択できることこそ、今の時代に合った給食の在り方ではないかと考えている。



フェーズフリーについて

もり やま さつき
森山 五月 議員



【問】フェーズフリーは、日常時と非常時を分け隔てることなく、ふだんの生活に役立つものがそのまま災害時にも発揮するという考え方である。これから将来的に建設される施設や整備される公園においても、フェーズフリーの仕組みを取り入れるお考えがあるのか。

【答】今後も施設や公園の状況、それらの防災上の機能等踏まえた上で、必要に応じて、災害時にも活用可能な施設整備等を検討していきたいと考えている。



本市の所有する 資産について

さとう まさゆき
佐藤 誠之 議員



【問】公用車の電気自動車導入は、環境面及び災害時の電源確保という観点から優先的に拡大すべきと考えるが、本市の見解は。また、EV導入に伴い、充電スポットの整備についてどのように計画をされているのか。

【答】さらなる技術革新を待つ必要があり、現時点においては、公用車の優先的な電気自動車の購入拡大については、今後の検討課題と捉えている。公用車の充電スポットの整備については、電気自動車の購入とあわせて検討していく。



デジタル教科書について

なかむら こうぞう
中村 孝三 議員



【問】教職員が教材を使いこなす為のサポート体制の整備が重要であると考え。

【答】指導方法は多様化すると考える。紙の教科書にない多様な機能があり授業の効率化が見込まれる。

【問】読み書きは教育の基本で、疎かになり危惧する。

【答】表現力と自分の理解が一致した時に非常に成長する。

【問】教師の働き方改革が挙げられ、負担軽減の時間をどのように使っていくか。

【答】学習指導要領に向けて制度的整理が求められ、5市歩調を合わせ研修体制を整えていく。



春日を福岡で最も 魅力ある住みやすい都市に

にしかわ ふみよ
西川 文代 議員



【問】以前の一般質問で西鉄春日原駅とJR春日駅の一体的な開発を望むことを発信した際の見解は、両駅の一体的なウォークラブル推進整備を検討するであった。その後の検討状況は。

【答】春日原駅周辺商業地域の高度利用型地区計画による容積緩和や近隣商業地域の高さ規制廃止などの手続きを進め、西鉄春日原駅周辺整備事業ではウォークラブルの視点で道路整備を実施する予定。このような取組により一体的な歩きたくなるまちなかが形成されると考える。



除去土壌、放射能汚染土の 再利用について

ありむら ひろし
有村 博 議員



【問】国の除去土壌の再生利用を推進する計画、放射能汚染土と呼ぶべきだが、国の方針に対し春日市としての見解は。住民の安全を最優先するため、国の方針と異なる独自の基準や管理方法を設ける可能性について検討は。

【答】除去土壌の復興再生利用については、科学的知見と国民への丁寧な説明に基づく合意形成等を経て進められていると認識しており、国の方針は理解できる。現時点で、国の方針と異なる市独自の基準等を設ける予定はない。



白水大池公園の現状と未来構想について

ふな く ぼ のぶ あき
船久保 信昭 議員



【問】 駐車場利用料金の助成制度導入の経緯は。
【答】 2時間程度の無料時間が必要と考えており、事業予定者の収益に大きな影響を及ぼさないようにするため導入に至った。
【問】 公園使用料月額180万円の根拠と、その設定期間は。
【答】 駐車場運営事業者にて収益計算を行い導き出した金額であり、設定期間は5年間である。
【問】 公園使用料は、白水大池公園の整備等に利用すべきでは。
【答】 使用料を財源の一部とし、白水大池公園の魅力向上に向けた再整備などに取り組んでいきたい。



不登校対策として子どもが行きたくなる学校に

よし い きょう こ
吉居 恭子 議員



【問】 市で、児童生徒の自由な学びを拡大するような学校運営の実践があるか。
【答】 小学校では、45分授業を40分として余剰の5分間は児童にとって興味関心や自己肯定感を高める活動の場を設ける、水曜日の時制を午後3時前後には下校できるようにし放課後の時間につなげる等している。中学校では、月曜日をハッピーマンデーとし6時間授業を5時間とし部活動を中止したり、ゆとりある学校生活の工夫等している。



議会広報、もっと身近に!

広報特別委員会では、7月の先進地視察を参考に、SNSを活用した議会広報の改革に挑戦しています。

10秒動画で「質問内容」をサクッと紹介!

9月定例会では、一般質問を行った議員の内容を「10秒動画」で配信。撮影時のNG集もおまけとして公開し、議会の裏側も楽しめます。



フォローアップ大作戦!

写真や動画の見せ方を工夫し、思わず見たい議会SNSを目指しています。あんどん祭りや文化祭などに議会ブースを設け、議会広報も行っています。



「あなたの写真が表紙に!」

議会だよりの表紙写真コンテンツを毎月開催中! 惜しくも表紙に選ばれなかった素敵な写真もSNSで紹介しています。



春日市議会 SNS



福岡女学院大学
FUKUOKA JO GAKUIN UNIVERSITY

大学生と議員が意見交換

10月14日、福岡女学院大学心理学科の21名の学生の皆さまが、心理学フィールドワーク授業の一環で春日市議会を訪問されました。
 5グループに分かれた意見交換では、「市民の声を集めてどのように反映させていくのか」「議員立候補の年齢制限や年代別立候補等の必要性は」など、学生の皆さんの政治への期待と関心の高さに驚かされました。
 春日市議会としても若い皆さんの疑問や意見をしっかり受け止め、市政に生かしていけるよう、「実行できる議会」を目指していきます。

大学生からの質問



- 学生時代の頃から政治に興味があったのか?
- 選挙に対して私たちにできることはどんなことか?
- 議員活動におけるSNSの利用と効果および課題について
- 住民の投票における候補者選定の媒体の有効性について

- 若者・現役世代の声により政策が実現したエピソードを教えて
- 若者の声が市政にどう反映されているのか? また要望などがある時はどのように伝えたいのか?
- SNSが若者に与える影響をどのように考えているか?



各委員会の視察報告

7月・8月に行われた 各委員会の先進地視察について報告します

こども文教委員会視察報告

【視察者】 迫委員長／田中副委員長／松尾委員
原委員／西村委員／森山委員

神奈川県座間市／学校プールの在り方について

7/8

中学校では、座学により水難事故防止に関する知識を広め、小学校では水泳の基本的な技術習得を中心とした実技指導を行っている。特に、命を守るための水泳技能習得は必須であり、民間プールの活用を段階的に拡大しつつ、全小学校の水泳授業を民間プールで行うよう完全移行を目指されており参考になった。



千葉県佐倉市／学校プール授業の民間委託について

7/9

民間委託後、児童からは「教え方がわかりやすい」、教員からは「天候に左右されず計画通り授業が実施できる」という好意的な意見が寄せられている。特に異性の児童に対するプール指導は、教員の力量の差が出やすいことから、プロのコーチによる指導が効果的であること等を学ぶことができた。



総務企画委員会視察報告

【視察者】 岩淵委員長／西川副委員長／中村委員
奈須委員／高橋委員／船久保委員／有村委員

東京都杉並区／グリーンインフラと住民参加について

7/22

グリーンインフラの地域実装を「みどりと水の都市づくり」の核に据え担当部局・区民・民間が主体的・協働的に成果を広げている。今後は財政安定化、維持管理体制の強化、世代交代を見据えた連携が課題と感じたが、都市型グリーンインフラと緑被率維持の先進的な取り組みを学び、大変参考になった。



東京都豊島区／グリーンインフラと防災への取り組みについて

7/23

多機能防災公園「イケ・サンパーク」を現地視察し、社会課題と結びつけ緑が少ないことを逆手に取った多角的な価値を生み出すモデルを学んだ。中小規模公園のユニークな活用や官民学の連携による運営は、都市部に位置する春日市のような自治体のグリーンインフラの推進において大いに参考となった。



東京都世田谷区／公園設置と管理事業について

7/24

二子玉川公園の現地視察を行った。公園の基本構想・基本計画の段階から住民参加を基本とし、公開抽選により選ばれた区民と共にアンケートやオープンハウスの設置など、幅広く意見や要望を聞き事業を進めていた。区民・行政・事業者の協力による管理運営手法は春日市にとっても大変参考になると感じた。



広報特別委員会視察報告 【視察者】 西村委員長／安部副委員長／中原委員／有村委員

和歌山県和歌山市／SNSを活用した議会情報の発信について、議会PR動画の取り組み

7/28

市内約280カ所の企業やお店に議員が直接出向いて設置を依頼。広報を市議会全体で取り組みをされている。中核市議会報コンクールで3年連続受賞。SNS発信では、「ええやん和歌山市議会」と題して、親しみやすく関西弁で動画を多数制作。「伝える」だけでなく「伝わる」広報を目指す姿勢が印象的であった。



大阪府枚方市／議会広報の取り組み、YouTubeなどを活用した議会紹介動画の工夫

7/29

議会だよりでは、マスコットキャラクター「ひこぼしくん」が登場するクイズ企画「ざかい探Q」を実施し250件の応募があり、議会に親しみを持ってもらうための工夫が随所に見られた。一般質問を10秒で紹介する動画を撮影し、ホームページへの誘導につなげるなど、情報発信の新しい取り組みがあった。



岡山県倉敷市／SNSを活用した議会情報の発信について

7/30

全国の議会SNSの中で公式フォロワー数がNo.1の倉敷市議会のSNS。市民が興味を持つ内容を意識した発信をし、毎日1回18時に投稿を行い、見ていただく工夫をされていた。議会活動を紹介するチラシやミニカードを作成して議会の広報活動をし、市民との距離をぐっと縮めていた。



議会運営委員会視察報告

【視察者】 高橋委員長／船久保副委員長／松尾委員／原委員
西村委員／岩淵委員／田中委員／中原議長／米丸副議長

三重県四日市市／決算審査と予算審査の連動した政策サイクルの導入

8/6

決算審査を四つの分科会で審査、議員間討議で論点を整理し全体会で議論。意見を集約し次の予算に反映されるよう議会から市長へ提言をし、予算審査で提言内容が予算書に反映されているかを含め審査。さらに次年度の決算審査で引き続きチェックするというPDCAサイクルを回した取り組みを学び大変参考になった。



愛知県瀬戸市／議会運営と議会改革の取り組みについて

8/7

平成29年4月に議会基本条例を制定し、YouTubeライブで透明性を確保。令和元年に評価検証を実施し、若者との意見交換を研究中。また政策検討会議のメンバーを26名から10名に縮小し、議会改革と活性化を推進しており、本市議会と違う手法を学ぶことができた。



愛知県知立市／議会改革の取り組みについて

8/8

市民の声を反映させ基本条例を制定されている。政策提言や市民向け報告会に加え、市長の反問権(反論含む)導入やタブレット・ペーパーレス会議への移行など、先進的な議会改革を着実に実行されており、特に市長の反論を含む点に関し学びを深めることができた。



